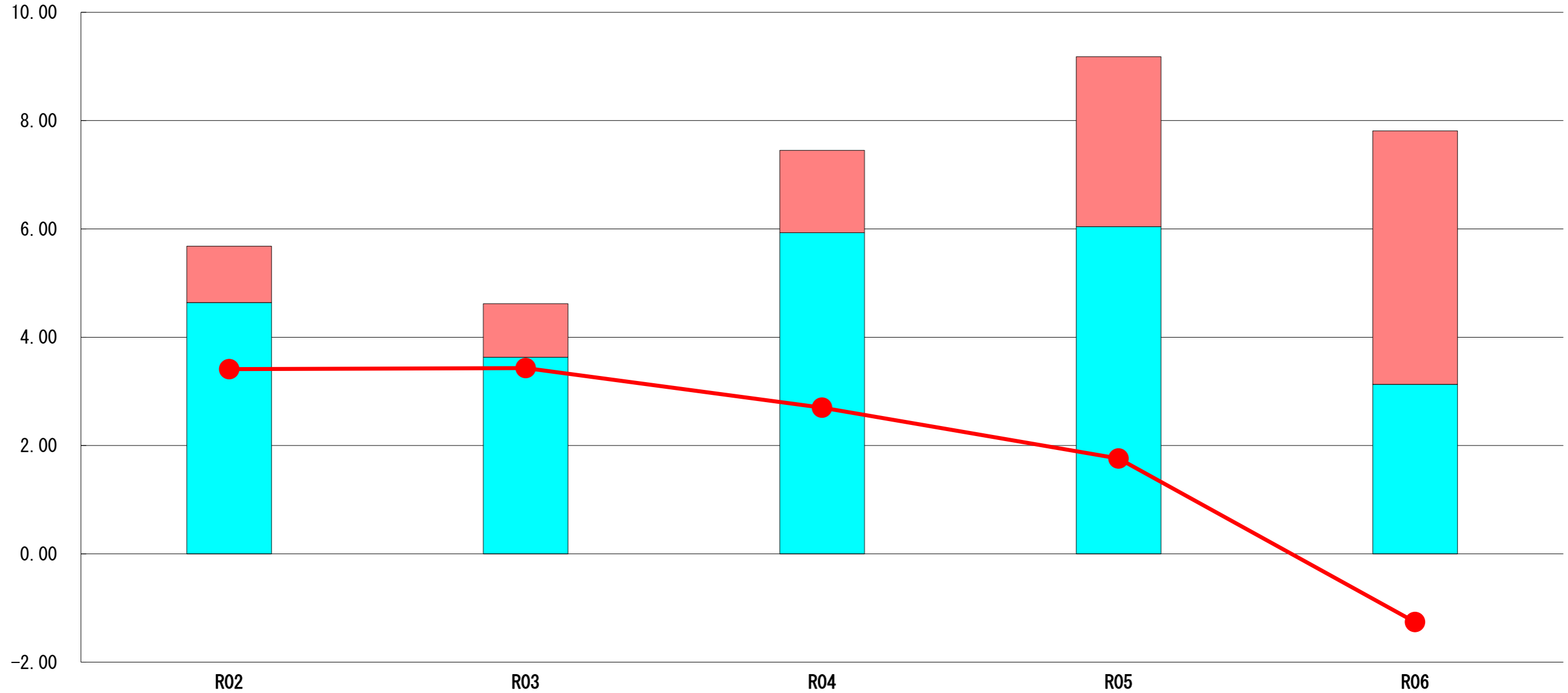


(7) 実質収支比率等に係る経年分析（都道府県）




令和6年度

和歌山県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	R02	R03	R04	R05	R06
 財政調整基金残高		1.04	0.99	1.52	3.14	4.68
 実質収支額		4.64	3.63	5.93	6.04	3.13
 実質単年度収支		3.41	3.43	2.70	1.76	▲ 1.26

分析欄

令和6年度の決算規模は、歳入・歳出ともに前年度と比べて増加し、過去10年間に於いて、歳入は3番目の水準、歳出は最大規模となった。歳入は、コスモパーク加太対策関連経費に係る基金繰入金及び県税や地方交付税・地方譲与税等一般財源の増加等により258億円増加し6,440億円、歳出は、コスモパーク加太対策関連経費、県人事委員会勧告に伴う給与改定及び定年引上げに伴う定年退職者の増加による退職手当の増加等により360億円増加し6,620億円となっており、歳入歳出を差し引いた金額は前年度を102億円下回る180億円となった。

また、実質収支は、前年度の実質収支に多額の国庫返還金が含まれているため、前年度を88億円下回る97億円の黒字となった。

さらに、実質単年度収支は、前年度の実質収支に多額の国庫返還金が含まれていること及び財政調整基金を41億円取崩した影響等により、前年度を93億円下回る39億円の赤字となった。

今後見込まれる社会保障関係費や公債費の増大に対応するため、より一層の歳出削減・歳入確